

事業概要報告書

特定非営利活動法人 ELP
代表理事 竹村眞一

今回助成いただいた事業につき以下、ご報告申し上げます。

事業①「海の生きもの地球ミュージアム」開催

2022年8月20日～31日の会期にて「海の生きもの地球ミュージアム」を千代田区麴町（半蔵門交差点前）のLIFULL Tableにて開催いたしました。

NHKの人気いきもの番組『ダーウィンが来た!』の映像とデジタル地球儀 Sphere の組み合わせで、それぞれの生きものの生態を貴重な現場記録映像で見ながら、その生態系や環境危機との関わり（たとえばクジラと流水と北の海の豊かさの関係、ホッキョクグマとその生存を脅かす北極圏の温暖化、マグロの移動経路に集まるプラスチック問題、サンゴと海洋酸性化など）を「地球目線」でデジタル地球儀で確認する、というメディアデザインとしても初の試みでした。

これは「海」への次世代の関心を高める斬新なアプローチとして、大きな反響がありました（来場者の子供達とその親のアンケートを参照）。

映像と地球儀をただ見て終わりではなく、ミュージアムとしての一連の「体験ストーリー設計」すなわち；

- 1) まず劇場版『ダーウィンが来た!』で海の生きもののリアルな映像を見て
 - 2) その生態や環境危機についての詳しい解説を大型 Sphere 地球儀のデモンストレーションを交えて受けたあと
 - 3) さらに「自由研究コーナー」で子供達が自由に小型 60cm 版 Sphere 地球儀を自分で操作しながら深掘り探求する（操作や情報探索に大学生の Sphere ナビゲーターが補佐）
 - 4) 窓辺のポスター解説でもさらに詳細な海に関する解説や海洋危機の実態を知る
- という流れが功を奏したと考えています。

これが子供達の「もっと海について、地球について知りたい」という探究心を喚起し、後述（事業③）の『千代田アースクール』開講へとつながりました。

また TV メディアとデジタル地球儀という現代ならではの「メディアミックス実験」として、『ダーウィンが来た!』番組制作ディレクターやプロデューサーを中心に NHK 関係者にもポジティブな反応を得ました。（別添；NHK 関係者からの感想転載を参照）

開催概要

- 会 期：2022年8月20日(土)～8月31日(水)
- 会 場：千代田区麴町 1-4-4 LIFULL 本社 1階 LIFULL Table
- 定 員：計 1400名

開催実績

- 来場者：計 825名
- 満足度： 93.04%*

※アンケート調査で5段階評価、「大変満足」「満足」の合計。有効回答数 203件。

開催所感

本年6月頃からのコロナ感染再拡大を受け、開催時期を8月下旬に延期したものの、なお感染拡大が収まらず不安を抱えての開催でした。そこで三密回避のため、かなり入場者制限を設けて参加者募集の告知を行いました。

基本「事前予約制」とし、三密を避けた席配置（席数の制限とともに、家族単位で座ってもらえるようテーブルの「島」を設けるなど）に留意した結果、劇場版上映やトークショー参加を各回「上限40名」で募集することとなりました（劇場版上映は午前と午後の1日2回）。結果として、会期12日間で900名弱という入場者数でしたが、上映2回+トークショーで1日あたりの事前参加申込み者数の上限が120名であったと考えれば、（事前申込み者数のうち実際に来場する人数の歩留まりが通常8割程度として）ほぼ上限に近い人数が来場したと思われます。土日を中心に予約が早期に満席となった日も多く、人数制限を緩めれば参加者数を増やすことが出来ましたが、「コロナとの共存」という状況で可能な最大限の結果として受け止めています。

他方、一人当たりの平均的な「滞在時間の長さ」は、単純な参加者数では表せない展示の成果と考えております。

過去に私共が行った六本木ヒルズや丸の内での「触れる地球ミュージアム」開催実績と比較しても、圧倒的に子供たち（親子）の滞在時間が長く、なかには上映やトークショーも含めて5～6時間滞在していた親子、リピーターで何度も来場した家族も多くおられました。

（おもに「自由研究コーナー」で地球儀を回しながらより深く「海」や海洋生物について学習しようとする意欲がみられました。）

展示会場写真



<補足>

イベント開催期間を通して、東京都のガイドラインに基づく地球温暖化対策を行いました。

- ◎ 行事の会場において、こまめな空調温度のコントロールによる過剰冷却の防止や、閉場時における機器の消灯を通じて、省エネルギーの実践に努めた。
- ◎ スタッフの移動は公共交通機関を推奨し、自動車の使用を抑制した。
- ◎ ポスター等において、公共交通機関を利用した来場方法を案内・周知した。
- ◎ 行事の会場において廃棄物の適正な分別を行った。
- ◎ 展示物におけるプラスチック利用を抑制した。

事業②『ダーウィンが来た！』番組映像+Sphere 地球儀コラボコンテンツのモニタリング
(@港区立みなと科学館、旭川市立科学館、港区立・高松中学校)

NHK『ダーウィンが来た！』番組映像と Sphere 地球儀の組合せは、単にミュージアム・イベントでの一過性の展示に終らず、今後「海」への関心と理解を深め、海洋教育に新次元を開く「汎用的」なデジタル教材パッケージとして、今後継続的に博物館や学校教育現場で活用されるべきものと考えております。

今回のミュージアムイベントにむけた試作と展示はその第一歩であり、次年度以降その「パッケージ教材」としての完成を目指しています。そのため今回試作した8本（ここでは仮に『ダーウィンが来た！』Sphere コラボコンテンツと呼びます）につき、学校教育現場や博物館でどのように受け止められるか、モニタリング展示を実施しました。

ミュージアム開催後、2022 年秋に先行的に学校の先生方や博物館の学芸員に小規模なモニタリング（試写を見てアドバイスを頂く作業）を行なったところ、「解説員なし」でも閲覧者が理解できるよう映像と地球儀の同期や相互関係の明示性を改善する必要がある、解説内容をもう少し平易化したほうがよい等のアドバイスを受けました。

夏のミュージアム展示では解説員が居て補足説明が出来たため、こうした問題は顕在化しませんでした。今後学校や博物館に頒布してゆく汎用的なパッケージ教材にしてゆくには必要な改善点と認識しました。

そこで、これを受けた改善作業を 2022 年秋から 2023 年初めにかけて行い、2 月から3月にかけて下記の博物館と学校でモニタリング作業を施行しました。（モニタリングの実施時期は学校側の試験などとの兼ね合い、博物館側の他の展示との関係から相談のうえ決定。）

- 1) 港区立・高松中学校（モニタリング実施；3月1日～7日）
- 2) 港区立みなと科学館（試験展示；2月7日、モニタリング実施；3月14日～3月30日）
- 3) 旭川市立科学館（展示及びモニタリング実施；3月10日～3月25日）

アンケート結果（資料2）に見るように、ここでも概ねポジティブな感想とともに、今後の教材としての改善・進化にむけて貴重なアドバイスの数々を得ました。これらの点は、次年度の制作プロセスにおいて十分考慮し、『ダーウィンが来た！』Sphere コラボコンテンツの「完成版」にむけて鋭意作業を進める所存です。

事業③『千代田アースクール』開講

2022 年夏の「海の生きもの地球ミュージアム」はリピーターの多さが特徴でしたが、その

中で特に近隣の千代田区在住の数組の親子づれからミュージアム展示の「継続」「再開」の要望が繰り返し寄せられました。

それを受けて2022年秋から月例で試験的に開催したのが「アースクール」(地球教室の意)で、夏のミュージアム展示同様に Sphere 地球儀を数台展示した形での授業・ワークショップを開催。十数組の親子がほぼ毎回参加する定例イベントとして定着したため、2023年5月からは千代田区と教育委員会の「後援」も受けて月例で公開実施の予定です。

(写真は「アースクール」染色ワークショップ～植物から色をいただく。参考動画も別添)



こうして地元のコミュニティや教育委員会とも連携した「地域密着型」の教育・社会貢献活動が始まったことは、「海の生きもの地球ミュージアム」の想定を超えた成果であり、この面でも貴財団の助成に深く感謝申し上げる次第です。

この有意義な活動の芽を持続可能な地球環境教育プラットフォームとして定礎すべく、この夏も「海の生きもの地球ミュージアム2」を開催する予定です。ご支援を賜れば幸いです。

「海の生きもの地球ミュージアム」2022 配付チラシ(表面)



海の生きもの
地球ミュージアム
2022

台風は海をよみがえらせる？
地球温暖化と海洋酸性化で海はどう変わる？
私たちが食べるマグロとブラゴミの意外な関係とは？

「宇宙」以上に未知で、未開の可能性を秘めた「海」、その豊かさや危うさを見つめる展示イベントです。

2022.8.20 SAT - 31 WED
【時間】9:30～17:30 (夕刻トークショー開催日は20:00)
【会場】LIFULL本社 1F LIFULL Table

入場無料
※会場はここら

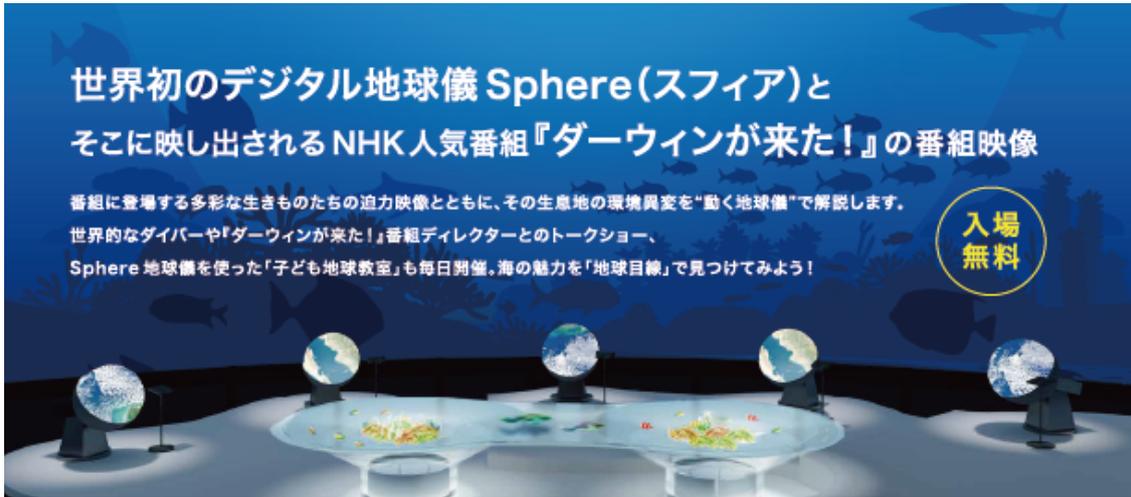
海と日本 PROJECT
THE NIPPON FOUNDATION

海の生きもの
超伝説
上映!
事前予約制

制作 監修:ユナイテッド・シネマ

主催: NPO法人ILP (Earth Literacy Program) 協賛: 日本財団「海と日本プロジェクト」
特別協力: 株式会社 N-NETエンタープライズ / 株式会社 LIFULL / 東京大学・芳村直研究員(社会環境研究科)
後援: 東京都環境局 / 千代田区 / 千代田区教育委員会 / (財)PEACE DAY

本イベントの開催においては東京都のガイドラインに従って感染防止対策を徹底し、発熱検査や三密回避のための入場者数の制限、観覧単位で着いたけりる誘導など配慮いたします。
※図等はイメージです。



世界初のデジタル地球儀 Sphere(スフィア)と そこに映し出されるNHK人気番組『ダーウィンが来た!』の番組映像

番組に登場する多彩な生きものたちの迫力映像とともに、その生息地の環境異変を“動く地球儀”で解説します。
世界的なダイバーや『ダーウィンが来た!』番組ディレクターとのトークショー、
Sphere 地球儀を使った「子ども地球教室」も毎日開催。海の魅力を「地球目録」で見つけてみよう!

入場
無料

デジタル地球儀 Sphere(スフィア)が 半蔵門に集結

世界各地の「いま」の様子をリアルタイムで見られるだけでなく、数億年の「大陸移動」、地球規模で移動するマグロや渡り鳥の動き、地球温暖化や海洋酸性化の進行など、地球の過去・現在・未来を映し出す最先端の地球儀。生きた地球の姿を体感して下さい。



「飛びだすAR地球」シートを使って 夏休み自由研究をまとめよう!

小中学生
対象

「流氷」は日本特有の現象?サンゴ礁は海のオアシス?海洋酸性化でプランクトンや魚が滅ぶメカニズムとは?NHK『ダーウィンが来た!』劇場版と地球儀の解説を見たら、そこで気になったテーマを「自由研究コーナー」の Sphere 地球儀でさらに深掘りして調べてみよう。配布された「自由研究」作成シートにその調査結果をまとめたら、お好みの「地球シール」を貼って出来上がり。専用アプリで、そのシールにスマホをかざすと、あれ不思議!色んなテーマの地球儀がARで飛びだす、ユニークな自由研究レポートが作成できます。



親子地球教室テーマ例

- 地球は「水球」**
海の意外な役割、生命が海を創った?私たちは歩く海?
- 台風は海をよみがえらせる?砂漠が海を豊かにする?**
知らないことだらけの海
- 西之島は富士山より高い?**
海底火山、プレートテクトニクス、海と大陸の話
- 海の生物と地球環境問題**
北極の海の異変、プラスチック以上に深刻な海の危機とは?
- 21世紀、人類は「海」で暮らす?**
海と人間の関わり、その過去・現在・未来

事前予約制

海の生きもの超伝説

NHK人気自然番組「ダーウィンが来た!」の劇場版第3弾は、人類最後のフロンティア「海」。特別な時期だけに“大集結”する生きものや、潜水艇でとらえた深海生物など、世界約60種の海の生きものを一挙大公開。数々の“驚き”を通して「海」の“尊さ”を感じてください。

参加申込はこちら▶

事前予約制
小・中学校・中学年以上

毎日開催! 地球教室、トークショー

Sphere地球儀のデモを交えた「親子」で参加する地球教室、NHKディレクターが語る『ダーウィンが来た!』制作秘話、世界的なフリーダイバーが語る海の生きものと対話する秘訣など日替わりで様々なトークショーを開催。

プログラムと参加申込はこちら▶

会場

LIFULL 本社 1F LIFULL Table

〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-4-4
【東京メトロ】
半蔵門線 半蔵門駅 3b 出口より徒歩 2分
有楽町線 麹町駅 3 出口より徒歩 6分



会場案内パンフレット

海の生きもの 地球ミュージアム 2022 展示の楽しみ方



劇場版『ダーウィンが来た!』上映
各日 10:00 ~ 14:30 ~
※20歳未満の上映を控えさせていただきます。

海の生きものの生き生きとしたリアルな生態が見られます！まずはミクロの視点で、どんな営みがなされているのか、楽しみながらご覧ください。

写真：「海」：海の生きもの博物館、東京海洋大学「海」ラボ
制作：NHK、ユナイテッド・シネマ、NHKエンタープライズ、制作費：1000万

上映ブース

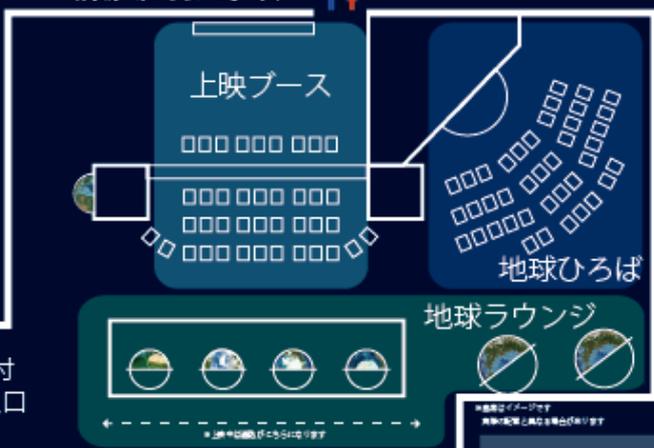


地球ひろば

地球目線で見る「海の生きもの」の生態
劇場版上映後 随時開催

劇場版で見えた海の生きものは、地球目線で見るとどんな生態なのでしょう？今度はマクロの視点で、地球の自然・気候と生きものとの関係性を見てみましょう！

お手洗いはこちらにございます→



受付
出入口

毎日開催、地球教室・トークショー

日替わりで「海」をテーマに、地球儀を使った地球教室や、観覧車で「海」に関わってきた方のリアルな語りが聞けるトークショーを開催します。



※日替わりのテーマはこちらから (peax ページ)
複数日程の参加も大歓迎です！

地球ひろば

海の生きもの夏休み自由研究企画
“かざして” 見る 海の生きものと地球の関わり

QR と AR、2つの“かざして” 見る体験ができます
ラウンジに置いてある QR コードブロックをかざすだけで、海の生きものと地球の関わりをもっと詳しく調べることができます。

興味のあるテーマをかざして、詳しく調べて「自由研究シート」にまとめたら、「AR 地球シール」を貼って完成。
専用アプリを使って、シールにスマホをかざすとここで見た地球儀が AR で飛び出します！



※ARアプリで見よう！

会場案内図

会場内各所

パネル展示

地球儀のコンテンツとして載せきれなかった深い話がパネルには沢山掲載されています。もっと深く地球のことや海を知りたいと思った方は、ぜひパネルもご覧ください！

地球ラウンジ

※撮影はご遠慮ください
※撮影の際はカメラのフラッシュをオフにしてください



主催：EBC 株式会社 (EBC Group) 協賛：NHK 放送局「海」制作プロダクト
制作協力：株式会社 NHK エンタープライズ (EBC Group) / NHK EBC / NHK EBC (EBC Group) / NHK EBC (EBC Group)
制作：NHK 放送局 / NHK EBC (EBC Group) / NHK EBC (EBC Group) / NHK EBC (EBC Group)

本イベント開催に際しては、本会場のガイドラインに基づいて感染防止対策を実施し、お客様や本会場のほかの来場者の健康、安全を最優先に確保し、実施いたします。

お問い合わせ

03-5561-1111